



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)KRC瀬谷駅北口SC	階数	地上3F
建設地	神奈川県横浜市瀬谷区中央6-15	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	522 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,475 時間/年(想定値)
建物用途	学校、物販店、病院、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 竣工	評価の実施日	2017年4月20日
敷地面積	1,894 m ²	作成者	株式会社 レーモンド設計事務所 代表取締役 三浦 敏伸
建築面積	1,491 m ²	確認日	2017年4月20日
延床面積	4,058 m ²	確認者	株式会社 レーモンド設計事務所 代表取締役 三浦 敏伸

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE=0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 276 (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 89%

③ 上記+②以外の: 89%

④ 上記+: 89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

音環境	1.4
温熱環境	1.8
光・視環境	3.4
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	3.0
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.6

生物環境	1.0
まちなみ・景観	1.0
地域性・アメニティ	3.0

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	2.6
効率的運用	2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	2.6
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化への配慮	3.4
地域環境への配慮	3.1
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 神奈川県横浜市に建設される商業施設である。 敷地は瀬谷駅前広場に面しており、物販店舗の他クリニック等のテナントが入居する予定となっている。		その他
Q1 室内環境 ・従業員用の喫煙スペースを設け、分煙に配慮している。	Q2 サービス性能 ・天井高さ4mを確保し、また屋上庭園等十分なレストスペースを設ける等快適性の向上を図っている。 ・階高は4.5m以上とし、将来的な更新性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・南東側エントランス周りにピロティ、庇を計画し、来店者が雨宿りや立ち話をできる空間を設けている。 ・夜間照明を設置し、敷地周辺は遮蔽物を設けず見通しをよくして周囲の防犯に配慮している。
LR1 エネルギー ・建築物の外皮性能を高め、省エネルギー化を図っている。	LR2 資源・マテリアル ・全面的にLGS工法を採用し、部材の再利用可能性向上に取り組んでいる。	LR3 敷地外環境 ・十分な駐輪スペースを確保し、また荷捌き用駐車場を設けるなど、周辺の渋滞緩和に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



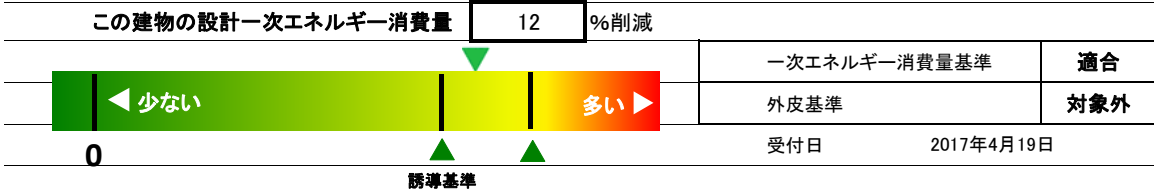
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)KRC瀬谷駅北口SC

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①外皮性能を高め、省エネルギー化を図っている

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩【物販】1作業単位で照明制御でき、かつ端末・リモコンで調整できる。

⑪ほぼ全面的にF☆☆☆☆または規制対象外の建材を採用している。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰耐震クラスはAクラスである

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
エネルギーマネジメントシステム導入	